

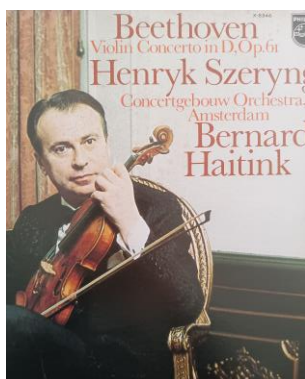
2024. 1. 14

## AAFC 例会 プログラム

前島隆生

皆様 明けましておめでとうございます。  
新春初回のプログラムとして穏やか、軽やかで肩の凝らない2曲を  
選択しました。いいところ取りでお楽しみください。

### 1 ベートーベン バイオリン協奏曲ニ長調 op61 第2楽章～第3楽章 19,50



ヘンリック シェリング Henryk Szeryng (Vn)  
ベルナルド ハイティンク 指揮  
アムステルダム コンセルトヘボール Orchestre 1973年  
第2楽章ラルゲット～第3楽章ロンド (アレグロ)  
シェリングの平安かつ感情込めた Vn が印象的です。  
ニ長調はベートーベンただ1曲の協奏曲であり、お  
おくの演奏家に取り上げていますが、シェリングの端正  
なりズムの運びと美音がハイティンク：コンセルトヘボールと素晴らしいマッ  
チングしており名盤の一つと思います。いいところ取り 2楽章からどうぞ～

### 2 シューベルト ピアノ5重奏曲「Traut ます」第2楽章～第5楽章 (終章) 27,30



スメタナ四重奏団+DB + Piano ヤン・パネンカ  
1962年

この演奏では 終始 パネンカのピアノが裏に表  
に存分に聴かれますのでそのタッチを存分に楽し  
んでください。また、シューベルトらしい歌うよ  
うなメロディーに癒されます。

Jan・Panenka : プラハ生 '44 ソリスト活動開始

'57 スークトリオ J Suk J Chchlo J Panenka

スメタナ四重奏団とたびたび共演 1999 没

澄みきった美音と的確なテンポ感の内省的表現に富み、室内楽や伴奏などで  
発揮される。